

# 建設CADの インストール手順

新規インストールの手順 .....	P.2
1. ネット認証ライセンスのインストール .....	P.3
2. 建設CADのインストール .....	P.5
3. ネット認証ライセンスのPRODUCTID認証 .....	P.7
プログラムの更新手順（バージョンアップ/アップデート） .....	P.10
1. ネット認証ライセンスの更新 .....	P.11
2. 建設CADのインストール .....	P.13
【補足1】：ネット認証ライセンス(LAN)を使用する場合は .....	P.16
ネット認証ライセンス(LAN)サーバーのインストール .....	P.16
ネット認証ライセンス(LAN)サーバーの更新 .....	P.19
【補足2】：USBプロテクト【SNS-W】を使用する場合は .....	P.21
USBプロテクト【SNS-W】のインストール .....	P.21
USBプロテクト【SNS-W】の書き換え .....	P.23
【補足3】：USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用する場合は .....	P.24
USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール .....	P.24
USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え .....	P.27
【補足4】：USBプロテクト【JSP-R】を使用する場合は .....	P.28
USBプロテクト【JSP-R】のインストール .....	P.28
USBプロテクト【JSP-R】の書き換え .....	P.30
【補足5】：USBプロテクト【JSP-LAN-R】を使用する場合は .....	P.31
USBプロテクト【JSP-LAN-R】のインストール .....	P.31
USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え .....	P.34
Q&A .....	P.36

# 新規インストールの手順

建設CAD

建設CADの新規インストールの手順について解説します。

新規インストールは、右図の流れでおこないます。

## 注意 セットアップ時の権限について

プログラムをインストールするには、Administratorsグループに所属しているユーザーや、「コンピューターの管理者」のユーザーで、ログオンする必要があります。

## — インストールの流れ —

1. ネット認証ライセンスのインストール

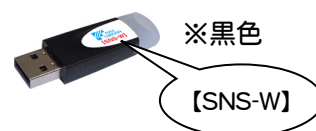
2. 建設CADのインストール

3. ネット認証ライセンスの製品ID認証

ネット認証ライセンス(占有)(共有) を使用されるお客様は、(3ページ)からの手順にしたがって、コンピューターに 建設CAD をインストールしてください。

ネット認証ライセンス(LAN) を使用されるお客様は、(16ページ)「ネット認証ライセンス(LAN)サーバーのインストール」を参照して、サーバーのインストールをおこなってから、(5ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターに 建設CAD をインストールしてください。

USBプロテクト【SNS-W】 を使用されるお客様は、(21ページ)「USBプロテクト【SNS-W】のインストール」を参照して、プロテクトドライバをインストールしてから、(5ページ)からの手順にしたがって、コンピューターに 建設CAD をインストールしてください。



USBプロテクト【SNS-LAN-X】 を使用されるお客様は、(24ページ)「USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール」を参照して、サーバーのインストールをおこなってから、(5ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターに 建設CAD をインストールしてください。



USBプロテクト【JSP-R】 を使用されるお客様は、(28ページ)「USBプロテクト【JSP-R】のインストール」を参照して、プロテクトドライバをインストールしてから、(5ページ)からの手順にしたがって、コンピューターに 建設CAD をインストールしてください。



USBプロテクト【JSP-LAN-R】 を使用されるお客様は、(31ページ)「USBプロテクト【JSP-LAN-R】のインストール」を参照して、サーバーのインストールをおこなってから、(5ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターに 建設CAD をインストールしてください。

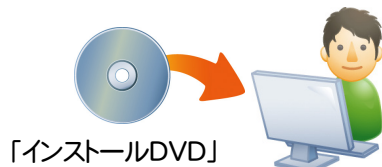


# 1. ネット認証ライセンスのインストール

プログラムのライセンスを管理するために必要な「ネット認証ライセンス」をインストールします。

※ ネット認証ライセンス(LAN)、または USBプロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】【JSP-R】【JSP-LAN-R】を使用される場合は、本操作は必要ありません。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、[PS版(ネット認証 or USB)]を押します。

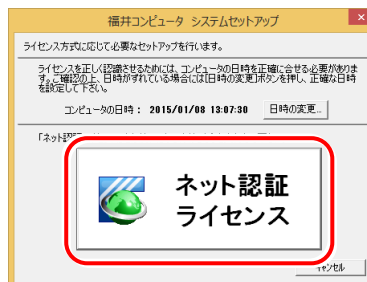


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

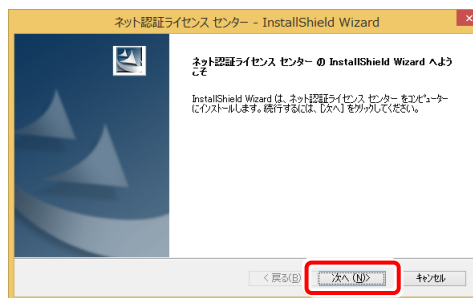
[ネット認証ライセンス]を押します。



3. コンピューターの日時を確認し、[ネット認証ライセンス]ボタンを押します。



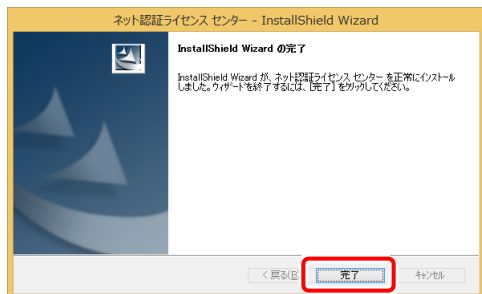
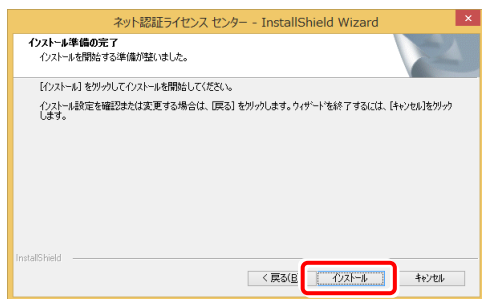
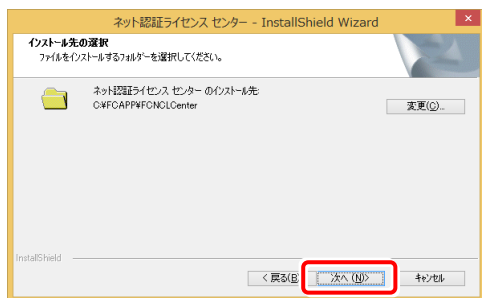
4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

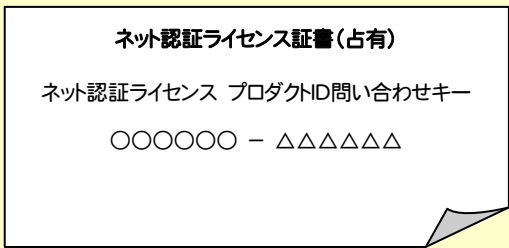
以上でネット認証ライセンスの新規インストールは完了です。  
続けて各プログラムをインストールしてください。

**プログラムの初回起動時に、プロダクトIDの認証が必要です！！**

弊社プログラムを使用するには、「ネット認証ライセンス」の**プロダクトID**を認証する必要があります。

**－ ネット認証ライセンス(占有)の場合 －**  
[プロダクトID問い合わせキー]を使用します。

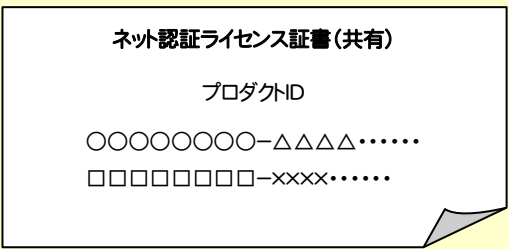
「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「**ネット認証ライセンス証書(占有)**」に記載されています。



**－ ネット認証ライセンス(共有)の場合 －**  
ソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を使用します。

**ソフトウェア管理者の方へ**

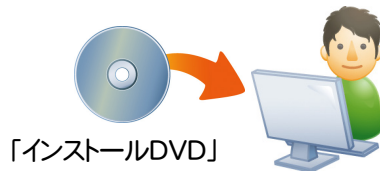
ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「**ネット認証ライセンス証書(共有)**」に記載されています。  
ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピュータ)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



## 2. 建設CADのインストール

建設CADを、新規インストールします。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、お使いのプロテクトを選択します。



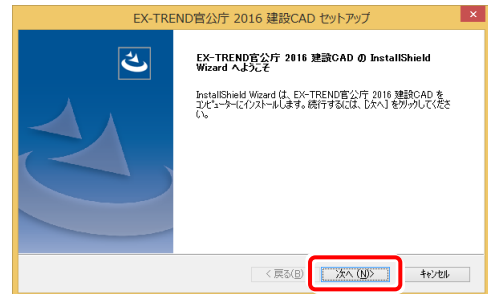
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

[建設CAD] を押します。

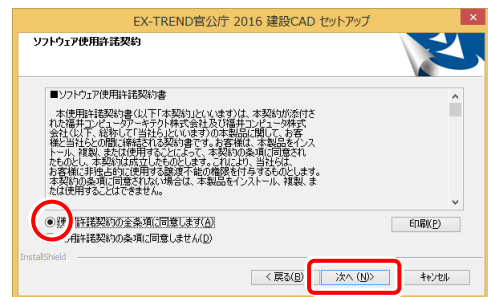
※ 下画面は [PS版] を選択した時の画面です。[ID版] にも、同様に [建設CAD] ボタンがあります。



3. 表示される画面に従って、インストールを行います。

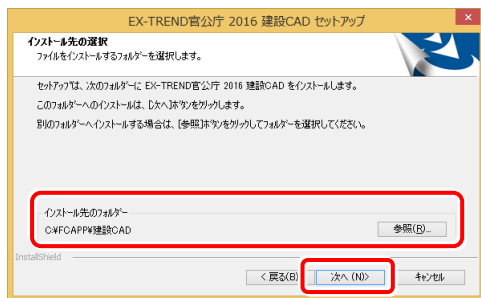


[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択して、[次へ] ボタンを押します。

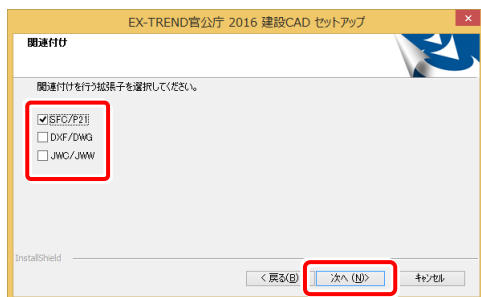


(次ページへ続く)

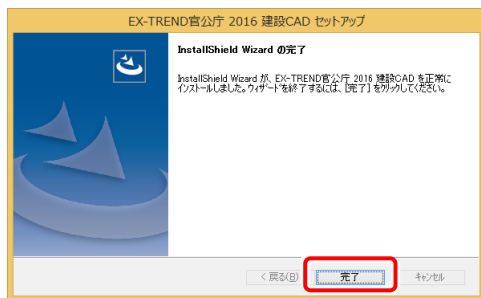
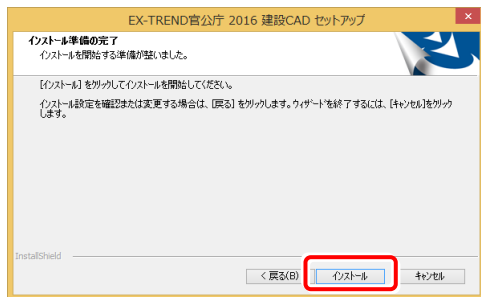
[インストール先のフォルダ]を指定して、[次へ]ボタンを押します。



建設CADに関連付ける拡張子を選択します。  
[SFC/P21]のチェックをオンにすることをお勧めします。



[インストール]を押すと、ファイルのコピーが開始されます。この処理は時間がかかる場合があります。



プログラムのインストールは完了です。  
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

### 3. ネット認証ライセンスのプログラムID認証

プログラムの起動時に、ネット認証ライセンスの「プログラムIDの認証」が表示される場合があります。表示される画面にしたがって、プログラムIDの認証をおこなってください。

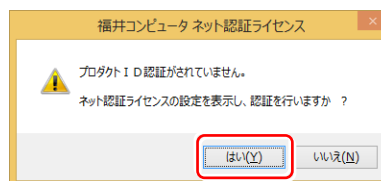
※ プログラムIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

1. デスクトップの[建設CAD]をダブルクリックして起動します。



2. プログラムID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプログラムIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)(共有)を使用する場合は、[はい]を押します。  
ネット認証ライセンス(LAN)、またはUSBプロテクト【JSP-R】【JSP-LAN-R】を使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.37 を参照してください。



### ネット認証ライセンス(占有)の場合、プログラムID認証の手順

[プログラムID問い合わせキー]を入力して、[プログラムID取得]ボタンを押します。

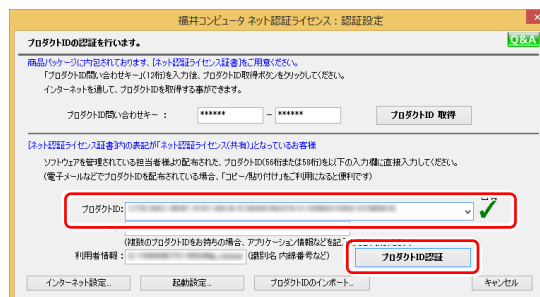
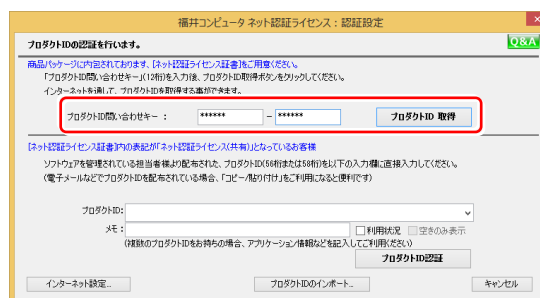
[プログラムID]が取得されたのを確認したら、[プログラムID認証]ボタンを押します。

[プログラムID問い合わせキー]は6桁+6桁で、送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。

**ネット認証ライセンス証書(占有)**

ネット認証ライセンス プログラムID問い合わせキー

○○○○○○ - △△△△△△



(次ページへ続く)

「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。(右画面)

お客様のご利用環境に合わせて、「ライセンスの使用方法」と「コンピューターのインターネット環境」を選択してください。

選択した内容により、

- ライセンス認証の設定
  - ・ 製品起動時に自動認証
  - ・ コンピューター起動時に自動認証
  - ・ 手動で認証
- ライセンス認証解除の設定
  - ・ シャットダウン・ログオフ・再起動のときに解除
  - ・ スリープのときに解除

が最適に設定されます。

選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

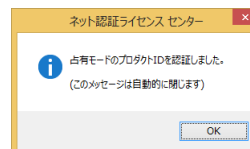
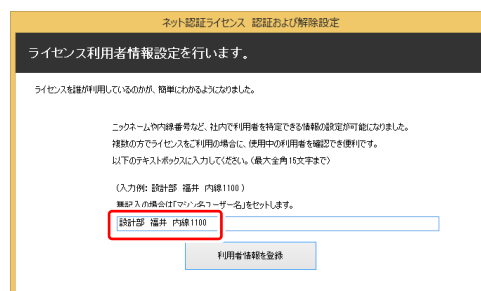
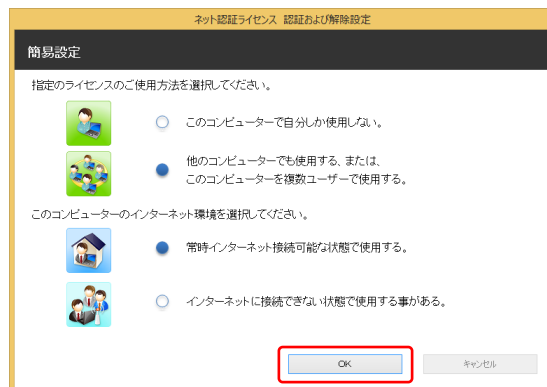
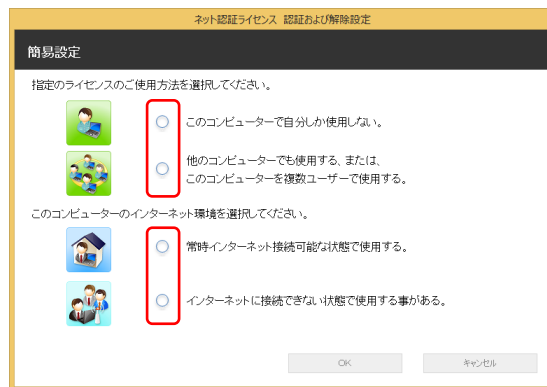
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。





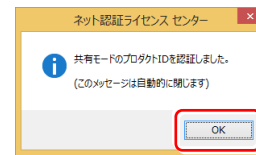
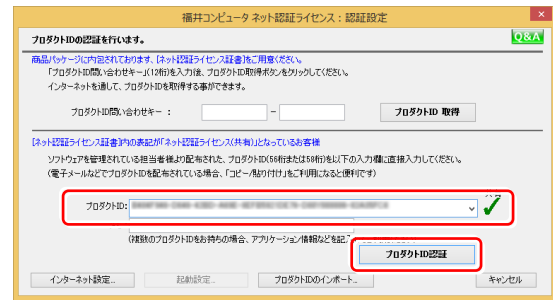
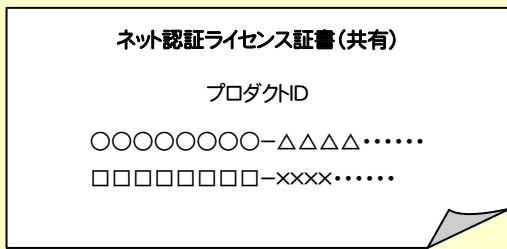
ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

[プロダクトID]にソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

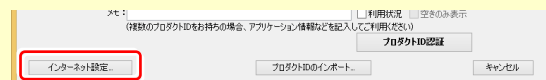
ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。

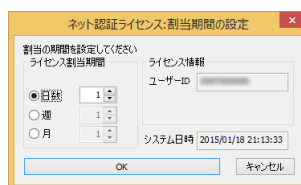
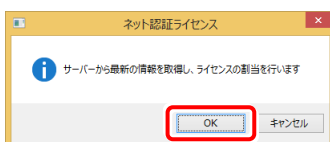


3. プログラムが起動されます。

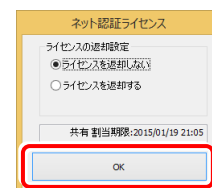
— ネット認証ライセンス(共有)の場合 —

ネット認証ライセンス(共有)では、プログラムの起動時にライセンスの割り当てをおこないます。

ライセンスを保持する期間を確認(または変更)して、[OK]ボタンを押します。  
(管理者により割当期間が1日と決められている場合は、割当期間の設定は表示されません。)



またプログラムの終了時に、ライセンス返却のダイアログが表示されます。  
返却する/返却しないを選択した後、[OK]ボタンを押してプログラムを終了します。



以上でインストールは完了です。

# プログラムの更新手順（バージョンアップ/アップデート）

建設CAD

コンピューターにセットアップされている建設CADを、バージョンアップ/アップデートする手順について解説します。

**注意**

## データのバックアップをおこなってください

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

## — インストールの流れ —

1. ネット認証ライセンスの更新

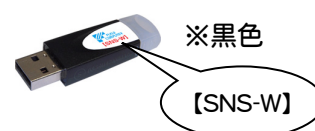


2. 建設CADのインストール

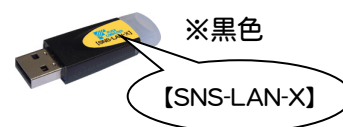
**ネット認証ライセンス(占有)(共有)** を使用されているお客様は、(11ページ)からの手順にしたがって、コンピューターに **建設CAD** をインストールしてください。

**ネット認証ライセンス(LAN)** を使用されるお客様は、(19ページ)「ネット認証(LAN)サーバーの更新」を参照して、サーバーのライセンス情報を更新してから、(13ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターに **建設CAD** をインストールしてください。

**USBプロテクト【SNS-W】** を使用されるお客様は、(23ページ)「USBプロテクト【SNS-W】の書き換え」を参照して、USBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(13ページ)からの手順にしたがって、コンピューターに **建設CAD** をインストールしてください。



**USBプロテクト【SNS-LAN-X】** を使用されるお客様は、(27ページ)「USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え」を参照して、サーバーのUSBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(13ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターに **建設CAD** をインストールしてください。



**USBプロテクト【JSP-R】** を使用されるお客様は、(30ページ)「USBプロテクト【JSP-R】の書き換え」を参照して、USBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(13ページ)からの手順にしたがって、コンピューターに **建設CAD** をインストールしてください。



**USBプロテクト【JSP-LAN-R】** を使用されるお客様は、(34ページ)「USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え」を参照して、サーバーのUSBプロテクトのライセンス情報を書き換えてから、(13ページ)からの手順にしたがって、各コンピューターに **建設CAD** をインストールしてください。



# 1. ネット認証ライセンスの更新

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、「ネット認証ライセンス」のアップデートと、ライセンス情報の更新が必要です。

- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムを使用することはできません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

※ ネット認証ライセンス(LAN)、または USBプロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】【JSP-R】【JSP-LAN-R】を使用される場合は、本操作は必要ありません。

## Step1 | ネット認証ライセンスのアップデート

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。

2. セットアップ画面で、「PS版(ネット認証 or USB)」を押します。

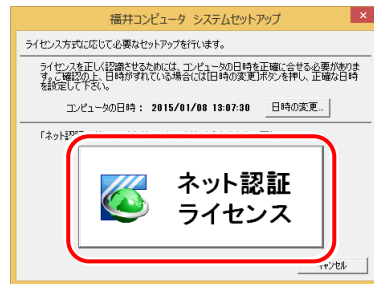


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

[ネット認証ライセンス] を押します。



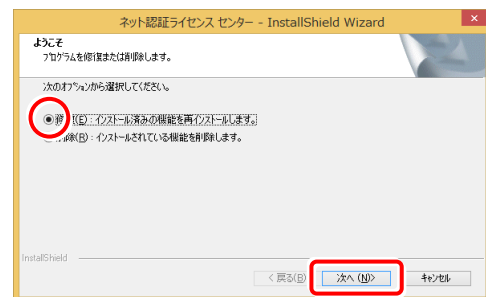
3. コンピューターの日時を確認し、[ネット認証ライセンス] ボタンを押します。



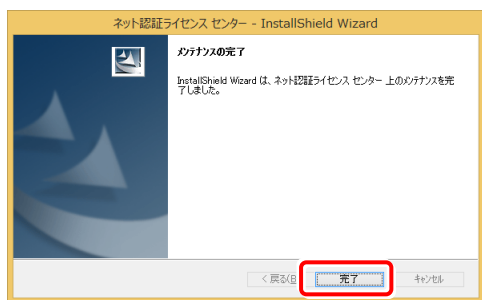
※ 下の画面が表示された場合は、最新のネット認証ライセンスがインストールされています。  
[OK]を押して処理を中止し、次ページ「Step2 | ライセンス情報の更新」へお進みください。



4. [修復]を選択して、[次へ]ボタンを押します。



(次ページへ続きます)



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

## Step2 | ライセンス情報の更新

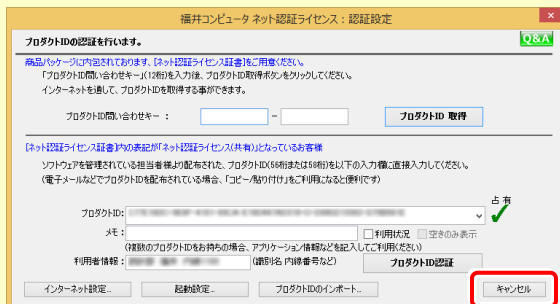
1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



「ネット認証ライセンス：認証設定」画面(下画面)が表示された場合は

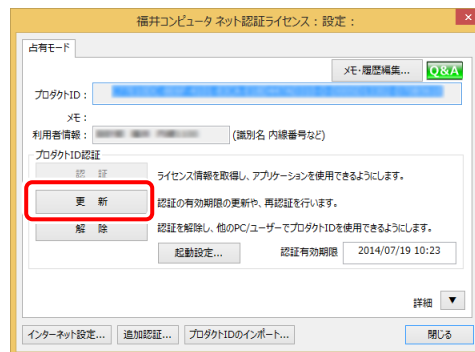
プログラムの起動時に自動的にライセンス情報が更新されますので、更新の必要はありません。

[キャンセル] ボタンを押して画面を閉じてください。

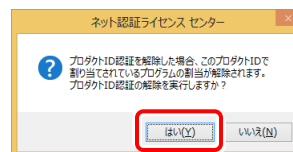
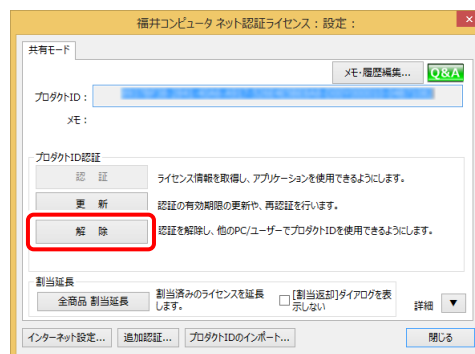


2. 「ネット認証ライセンス：設定」画面が表示されます。

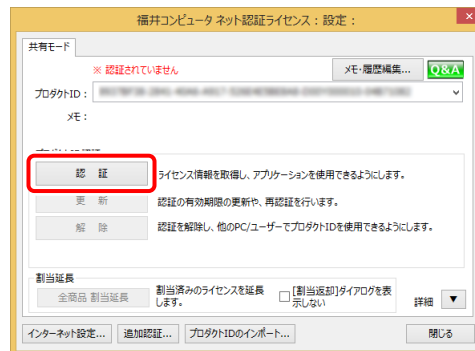
### － ネット認証ライセンス(占有)の場合 － [更新] ボタンを押します。



### － ネット認証ライセンス(共有)の場合 － [解除] ボタンを押します。



プロダクトIDはそのまま変更しないで、[認証] ボタンを押します。

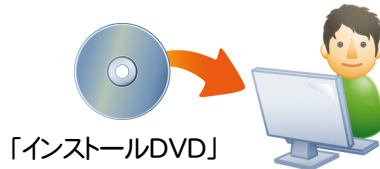


ネット認証ライセンスの更新は完了です。

## 2. 建設CADのインストール

建設CADを、バージョンアップまたはアップデートする手順について解説します。

1. プログラムをインストールするコンピュータに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、お使いのプロテクトを選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

[建設CAD] を押します。

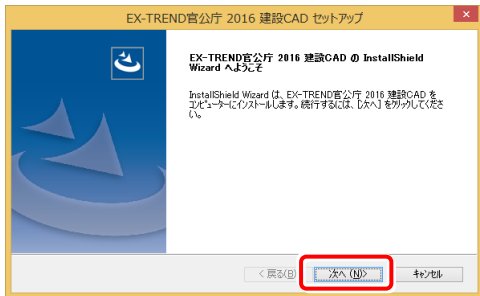
※ 下画面は [PS版] を選択した時の画面です。[ID版] にも、同様に [建設CAD] ボタンがあります。



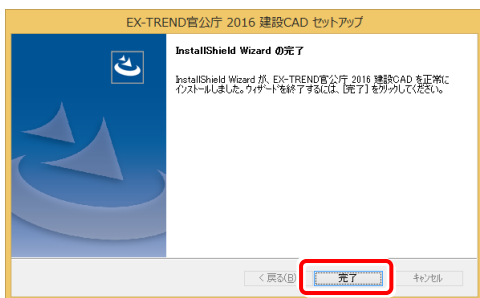
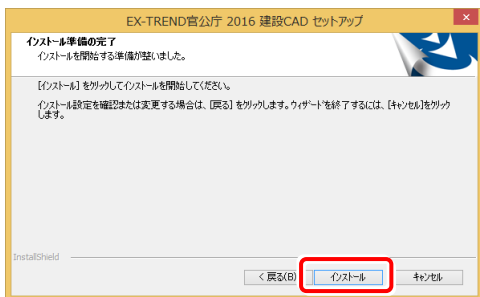
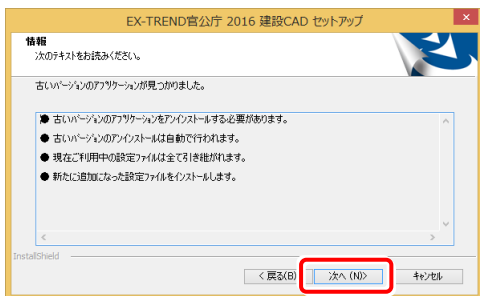
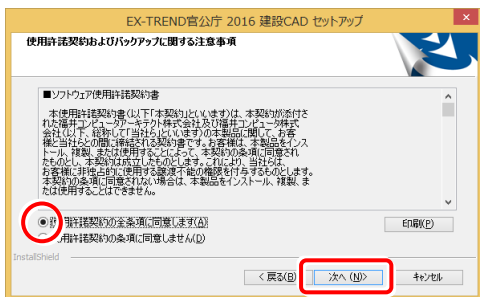
(次ページへ続く)

### 3. 表示される画面に従って、インストールを行います。

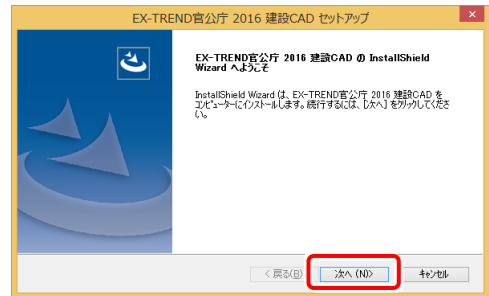
#### ● バージョンアップ の場合の手順



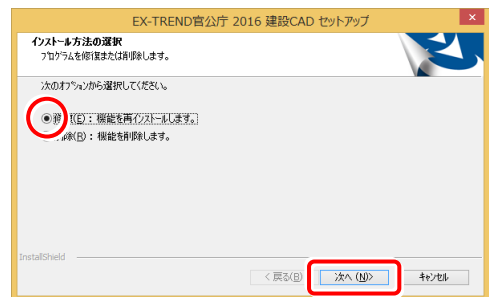
[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



#### ● アップデート の場合の手順



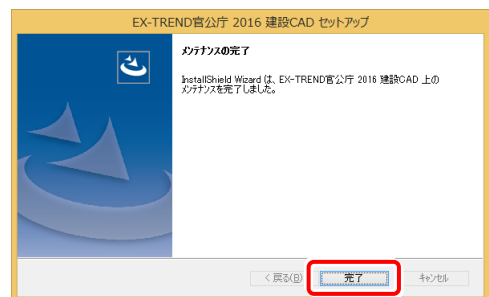
[修復]を選択します。



コピー先に、コピーするプログラムよりも新しい(または同じ)プログラムが既に存在する場合には、メッセージ「コピー先に、コピー元と～」が表示されます。

通常は、[いいえ]をクリックして処理を中止します。

プログラムが正常に動かないなどで、修復したい場合は、[はい]をクリックします。



以上でインストールは完了です。

－ メモ －

## 【補足1】: ネット認証ライセンス(LAN)を使用する場合は

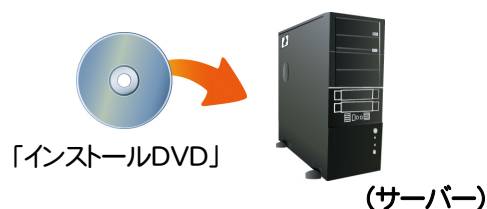
### ネット認証ライセンス(LAN)サーバーのインストール

ネット認証ライセンス(LAN)を使用される場合は、使用するサーバーに「ネット認証LANサーバー」をインストールした後、プロダクトIDの認証をおこないます。

- ※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。
- ※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

#### Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、[PS版(ネット認証 or USB)]を選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

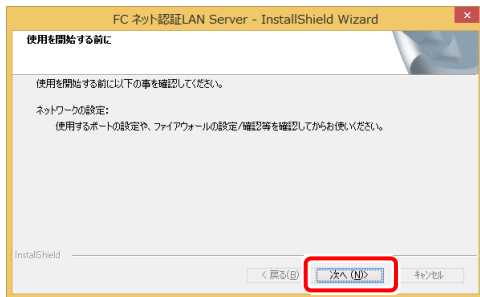
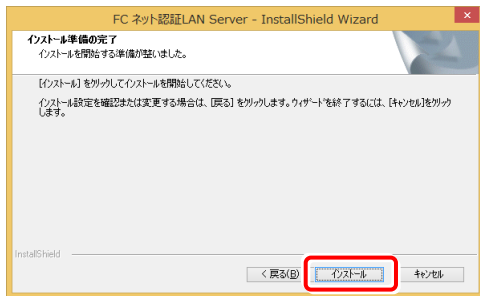
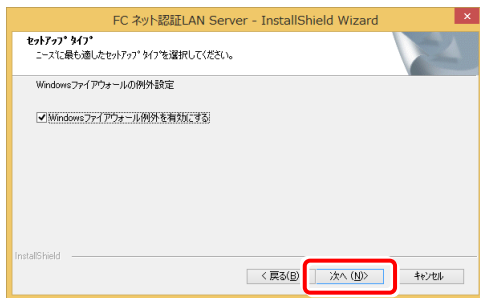
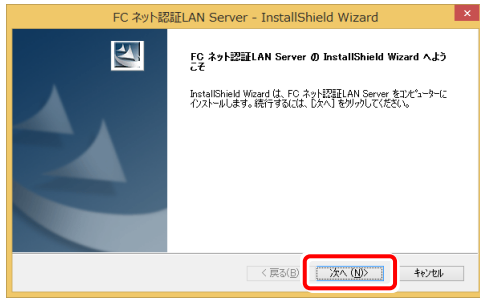
3. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。



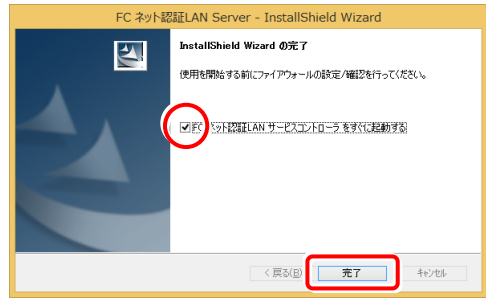
(次ページへ続きます)



**4.** 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



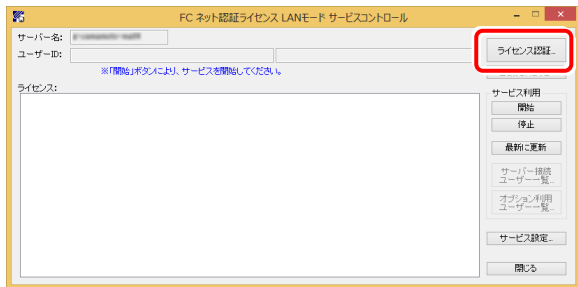
**5.** [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。



(次ページへ進みます)

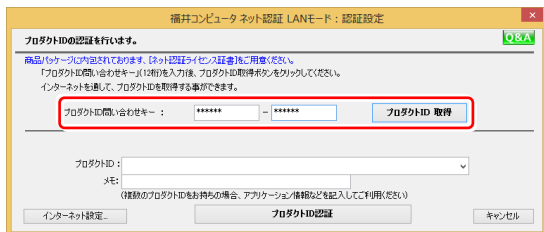
**Step2 | プロダクトIDの認証(サーバー)**

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。



※ 上記画面が表示されていない場合は、  
**Windows10の場合**：スタートメニューから、[すべてのアプリ]-[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントロール]  
**Windows8.1の場合**：「アプリ画面」から、[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントロール]  
**Windows7/Vistaの場合**：スタートメニューから、[すべてのプログラム]-[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントロール]  
 で起動してください。

2. [認証設定]画面が表示されますので、[プロダクトID 問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]を押します。



※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「**ネット認証ライセンス証書(LAN)**」に記載されています。

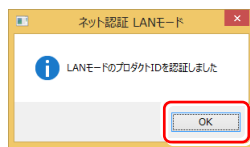
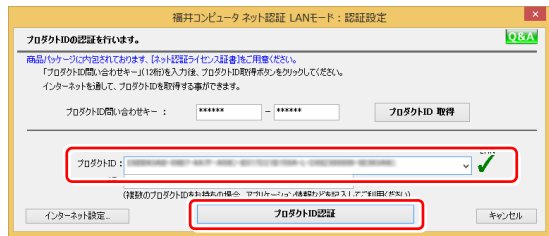
**ネット認証ライセンス証書(LAN)**

ネット認証ライセンス プロダクトID問い合わせキー

○○○○○○ - △△△△△△

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]を押して、プロキシ設定を変更してみてください。

3. [プロダクトID]が取得されたのを確認し、[プロダクトID 認証]を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でネット認証ライセンス(LAN)のインストールは完了です。  
 続けてクライアントで、各プログラムのセットアップをおこなってください。

# ネット認証ライセンス(LAN)サーバーの更新

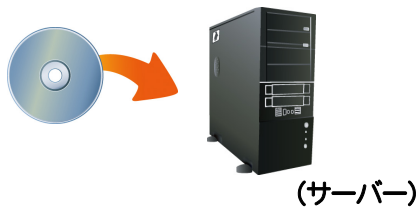
・バージョンアップ時  
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、ネット認証LANサーバー(ライセンス管理プログラム)の更新と、ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス情報の更新が必要です。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

## Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

### 1. サーバーに「インストールDVD」をセットします。



### 2. セットアップ画面で、[PS版(ネット認証 or USB)]を選択します。

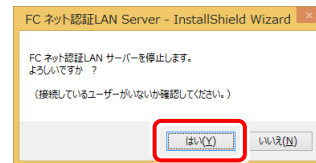


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

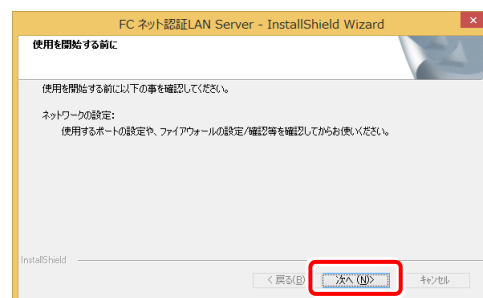
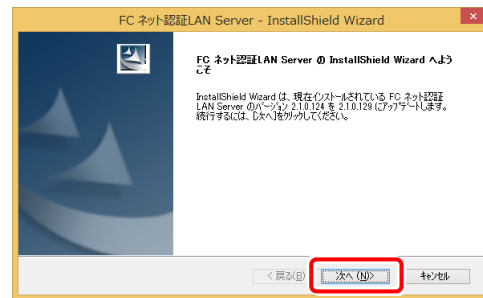
### 3. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。



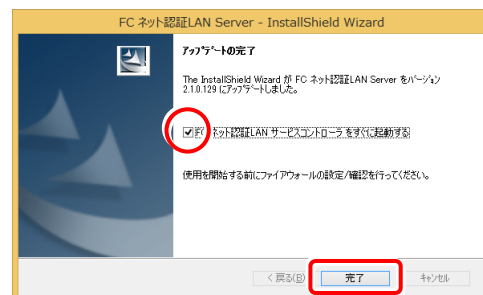
### 4. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。 [修復]と[削除]の選択画面が表示された場合は、[修復]を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



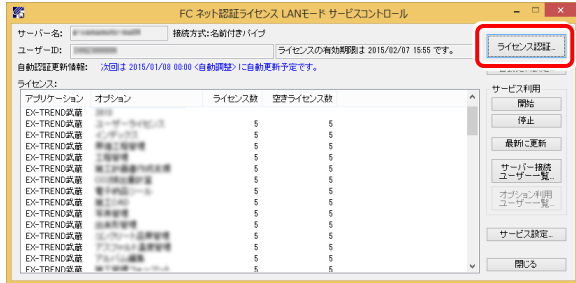
### 5. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。



(次ページへ進みます)

Step2 | ライセンス情報の更新(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。



※ 上記画面が表示されていない場合は、

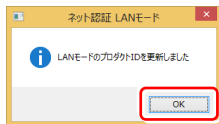
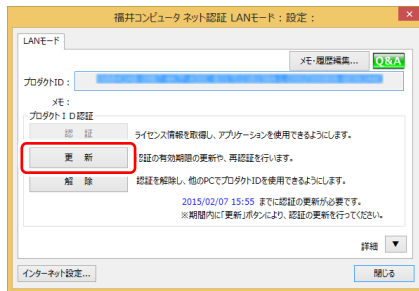
**Windows10の場合** : スタートメニューから、[すべてのアプリ]-[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]

**Windows8.1の場合** : 「アプリ画面」から、[FC ネット認証 LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントローラ]

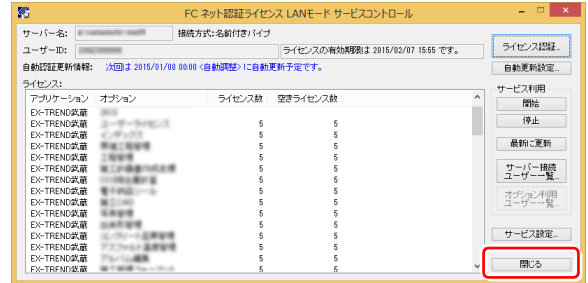
**Windows7/Vistaの場合** : スタートメニューから、[すべてのプログラム]-[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証 LAN サービスコントローラ]

で起動してください。

2. [更新]を押します。



3. ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でネット認証ライセンス(LAN)の更新は完了です。

続けてクライアントで、各プログラムの更新をおこなってください。

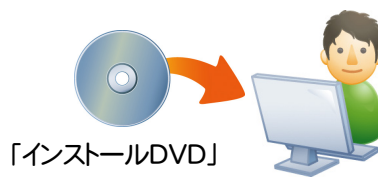
## 【補足2】:USBプロテクト【SNS-W】を使用する場合は

### USBプロテクト【SNS-W】のインストール

USBプロテクト【SNS-W】を使用される場合は、USBプロテクト【SNS-W】のプロテクトドライバーをインストールします。

#### Step1 | システムセットアップ

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



#### ※ 重要!!

USBプロテクトは、  
まだコンピューターに  
装着しないでください。



2. セットアップ画面で、お使いのプロテクトを選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

3. セットアップ画面の [USBプロテクトをお使いの方はこちらへ] の文字をクリックします。

※ 下画面は [PS版] を選択した時の画面です。[ID版] の場合は、[システムセットアップ] ボタンを押してください。

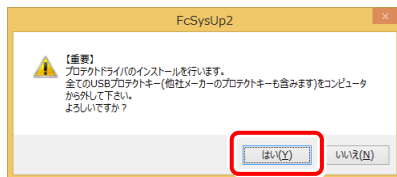


(次ページへ続きます)

4. [SNS-W] ボタンを押します。



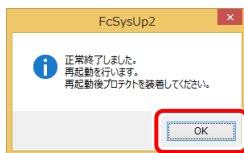
USBプロテクトがコンピューターから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。



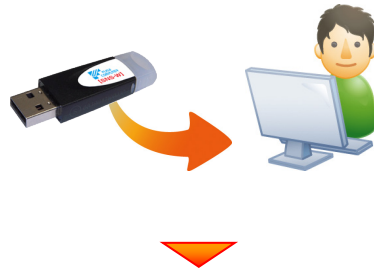
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK] ボタンを押してコンピューターを再起動します。

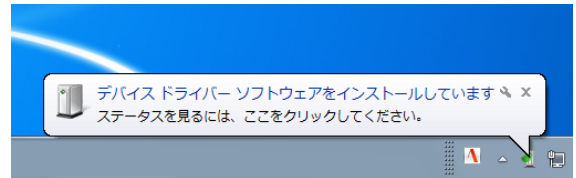


5. コンピューターの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。

# USBプロテクト【SNS-W】の書き換え

・バージョンアップ時  
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、送付された「プロテクト書換CD」を使用して、USBプロテクト【SNS-W】のライセンス情報を書き換える必要があります。

USBプロテクト【SNS-W】をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

## Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「SNS-Wタイプ」をクリックします。



※ 表示される画面は異なる場合があります。

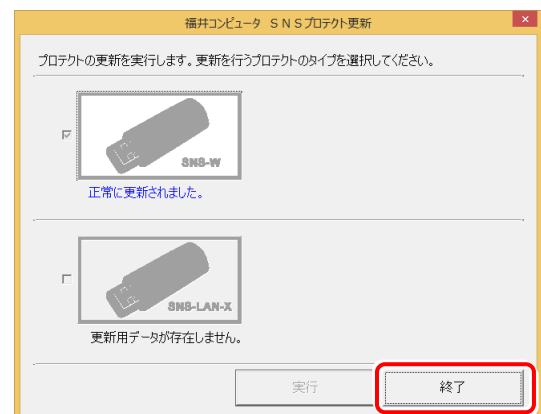
※ 上記画面が表示されない場合は、「プロテクト書換CD」内の [Install.exe] を実行してください。

4. [SNS-W]にチェックが入っている事を確認して、[実行]ボタンを押します。



※ 複数のUSBプロテクトをお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。  
必ず1つずつ書き換えてください。

5. 正常終了したら[終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

## 【補足3】:SNS-LAN-Xプロテクトを使用される場合は

SNS-LAN-Xプロテクトの、「新規導入時の手順」です。  
プログラムのインストールをおこなう前に、実行してください。

### USBプロテクト【SNS-LAN-X】のインストール

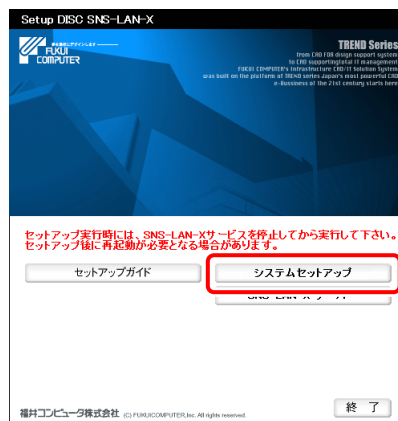
SNS-LAN-Xプロテクトを装着するサーバーに、まず「SNS-LAN-Xプロテクト」をインストールします。  
その後SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）をインストールします。

#### Step1 | システムセットアップ

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着するサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



2. セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



#### ※ 重要!!

USBプロテクトは、  
まだサーバーに  
装着しないでください。



#### 「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」 をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップや、プログラムの追加購入で、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。)

※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の[Install.exe]を実行してください。

(次ページへ続きます)



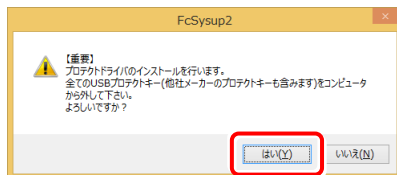
### 3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X]ボタンを押します。



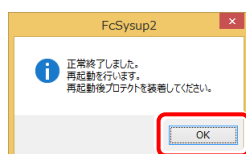
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい]ボタンを押します。



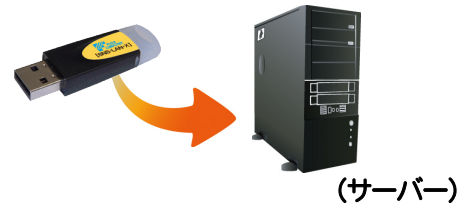
### ※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK]ボタンを押してサーバーを再起動します。

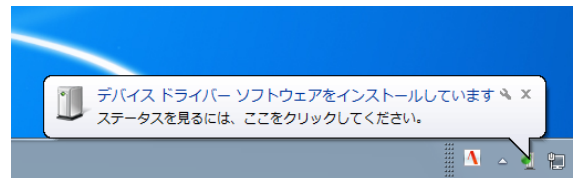


### 4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

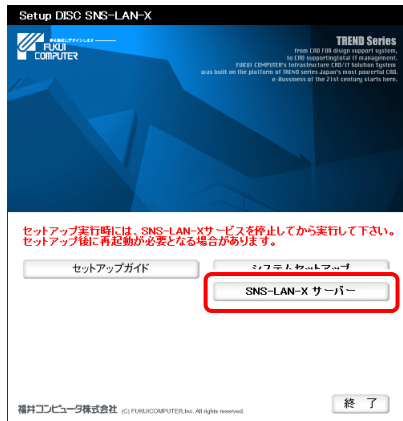
(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



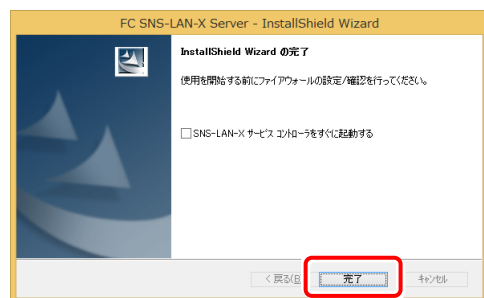
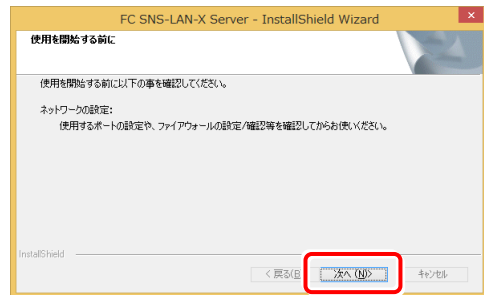
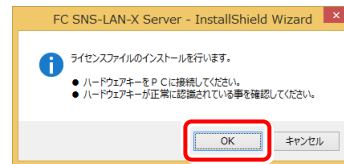
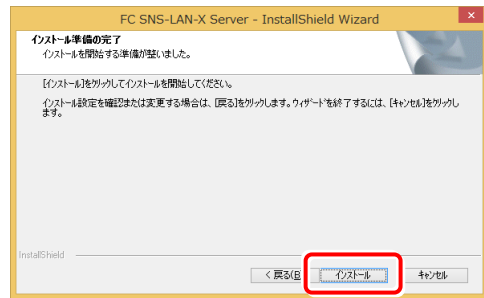
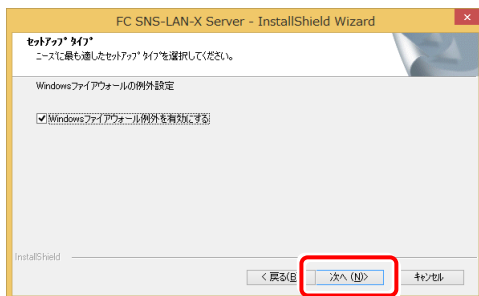
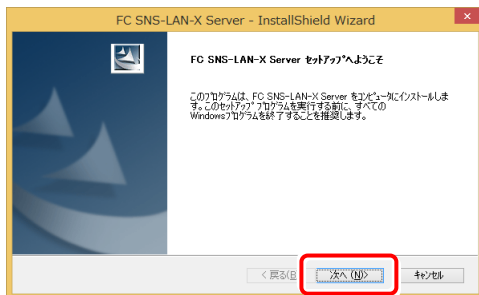
(次ページ「Step2」へ進みます)

## Step2 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーで、[SNS-LAN-Xサーバー]ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。  
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

# USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え

・バージョンアップ時  
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス情報の書き換えと、SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）の更新が必要です。

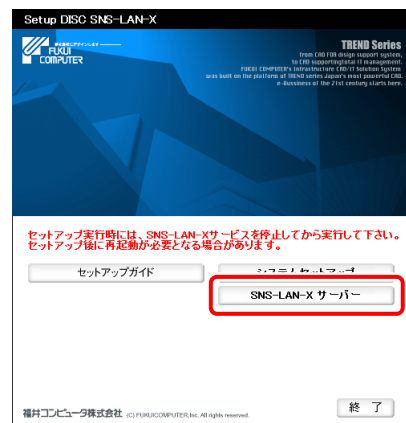
USBプロテクト【SNS-LAN-X】をお使いの方は、以下の手順で書き換えと更新をおこなってください。

## Step1 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)の更新

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーに、送付された新しい「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



メッセージにしたがって、プログラムとライセンスを更新します。

以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。  
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

### 送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください

サーバー入れ替えなどで、SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）の新規インストールが必要になった場合は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して新規インストールします。

最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください。

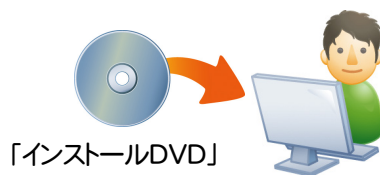
# 【補足4】:USBプロテクト【JSP-R】を使用する場合は

## USBプロテクト【JSP-R】のインストール

USBプロテクト【JSP-R】を使用される場合は、USBプロテクト【JSP-R】のプロテクトドライバーをインストールします。

### Step1 | システムセットアップ

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



#### ※ 重要!!

USBプロテクトは、  
まだコンピューターに  
装着しないでください。



2. セットアップ画面で、お使いのプロテクトを選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

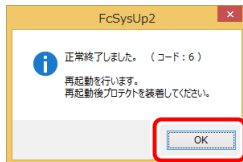
3. セットアップ画面の [USBプロテクトをお使いの方はこちらへ] の文字をクリックします。

※ 下画面は [PS版] を選択した時の画面です。[ID版] の場合は、[システムセットアップ] ボタンを押してください。



(次ページへ続きます)

4. [JSP-R] ボタンを押します。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、一旦再起動してから次の手順に進みます。

5. コンピューターに、USBプロテクトを装着します。



自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが認識されます。

以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。

# USBプロテクト【JSP-R】の書き換え

・バージョンアップ時  
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、送付された「プロテクト書換CD」を使用して、USBプロテクト【JSP-R】のライセンス情報を書き換える必要があります。

USBプロテクト【JSP-R】をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

## Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「JSP-Rタイプ」を、クリックします。

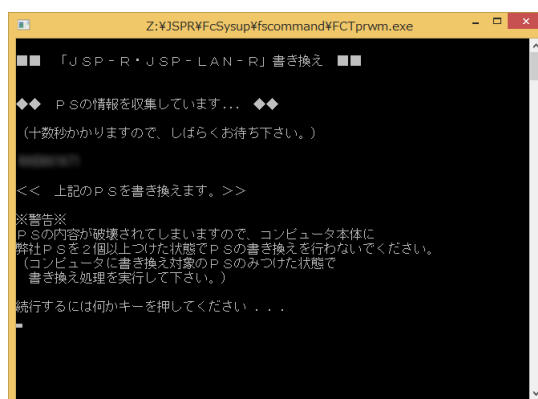


※ 表示される画面は異なる場合があります。

4. [プロテクトの書き換え]ボタンを押します。



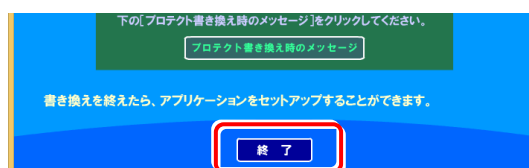
5. 画面のメッセージに従って操作します。



正常終了したら、何かキーを押して[プロテクトの書き換え]画面に戻ります。

※ 複数の「USBプロテクト」をお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。  
**必ず1つずつ書き換えてください。**

6. [終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

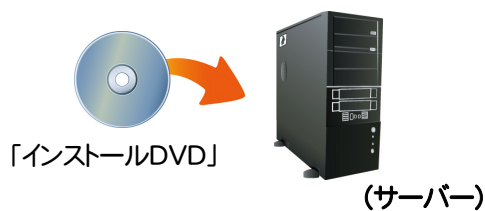
## 【補足5】:USBプロテクト【JSP-LAN-R】を使用する場合は

### USBプロテクト【JSP-LAN-R】のインストール

USBプロテクト【JSP-LAN-R】を使用される場合は、USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、プロテクトドライバーと「JSP-LAN-Rサーバー(ライセンス管理プログラム)」をインストールします。

#### Step1 | システムセットアップ

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



#### ※ 重要!!

USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。



2. セットアップ画面で、お使いのプロテクトを選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の【INSTALL.EXE】を実行してください。

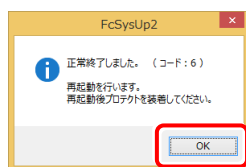
3. セットアップ画面の[USBプロテクトをお使いの方はこちらへ]の文字をクリックします。

※ 下画面は[PS版]を選択した時の画面です。[ID版]の場合は、[システムセットアップ]ボタンを押してください。



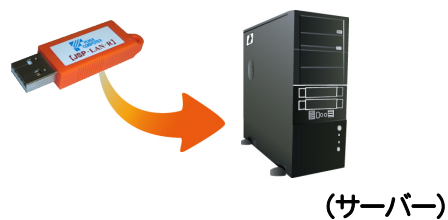
(次ページへ続きます)

4. [JSP-LAN-R] ボタンを押します。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、一旦再起動してから次の手順に進みます。

5. サーバーに、USBプロテクトを装着します。



自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが認識されます。



(次ページ「Step2」へ進みます)



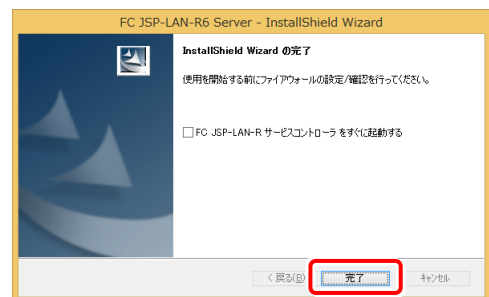
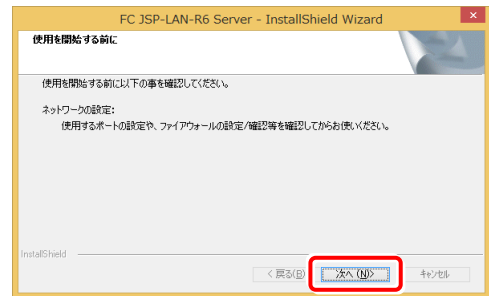
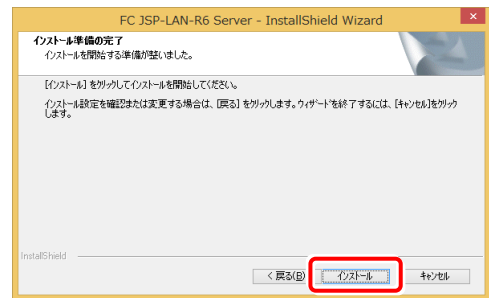
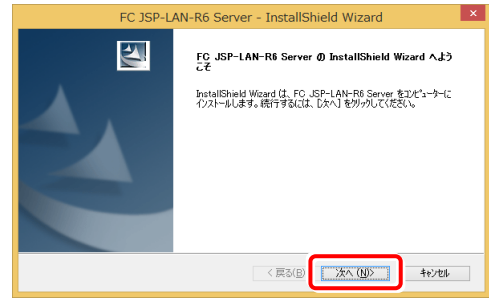
## Step2 | 「JSP-LAN-Rサーバー」 (ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーで、[JSP-LAN-Rサーバー]ボタンを押します。

※ 下画面は[PS版]を選択した時の画面です。[ID版]にも、同様に[JSP-LAN-Rサーバー]ボタンがあります。



2. 表示される画面に従って、JSP-LAN-Rサーバーをインストールします。



以上でUSBプロテクトのインストールは完了です。  
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

# USBプロテクト【JSP-LAN-R】の書き換え

・バージョンアップ時  
・ライセンス情報の変更時

プログラムのバージョンアップ時やプログラムの追加購入によるライセンス情報の変更時には、USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス情報の書き換えと、JSP-LAN-Rサーバー（ライセンス管理プログラム）の更新が必要です。

USBプロテクト【JSP-LAN-R】をお使いの方は、以下の手順で書き換えと更新をおこなってください。

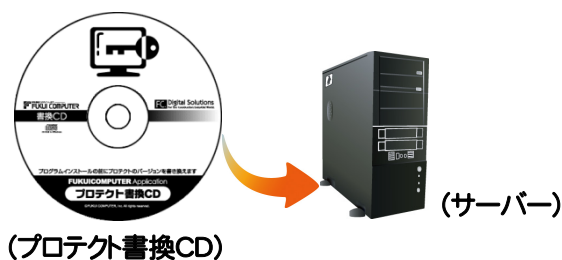
## Step1 | プロテクトの書き換え

1. サーバーに書き換えを行う USBプロテクト【JSP-LAN-R】を、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、サーバーにセットします。



3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「JSP-LAN-Rタイプ」をクリックします。

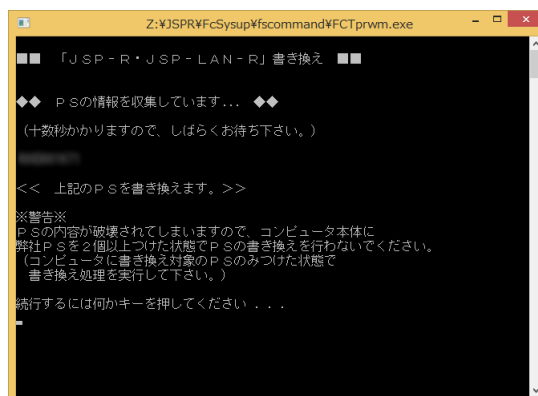


※ 表示される画面は異なる場合があります。

4. [プロテクトの書き換え]ボタンを押します。



5. 画面のメッセージに従って操作します。

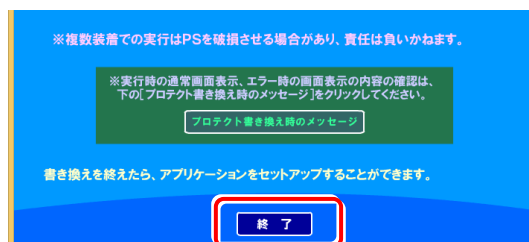


正常終了したら、何かキーを押して[プロテクトの書き換え]画面に戻ります。

※ 複数の「USBプロテクト」をお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。

必ず1つずつ書き換えてください。

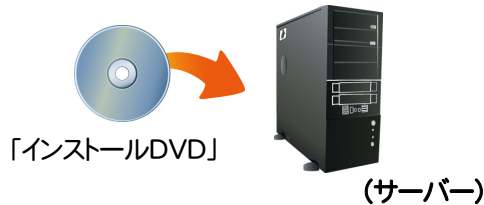
6. [終了]ボタンを押して画面を閉じます。



(次ページ「Step2」へ進みます)

**Step2 | 「JSP-LAN-Rサーバー」  
(ライセンス管理プログラム)の更新**

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、お使いのプロテクトを選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の「INSTALL.EXE」を実行してください。



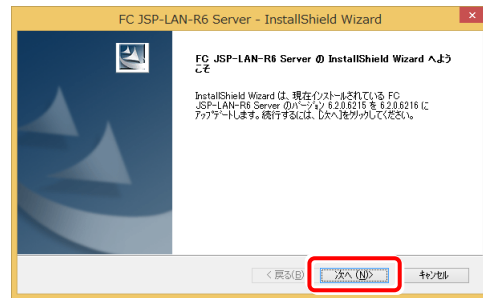
[JSP-LAN-R サーバー]を押します。

※ 下画面は[PS版]を選択した時の画面です。[ID版]にも、同様に[JSP-LAN-Rサーバー]ボタンがあります。

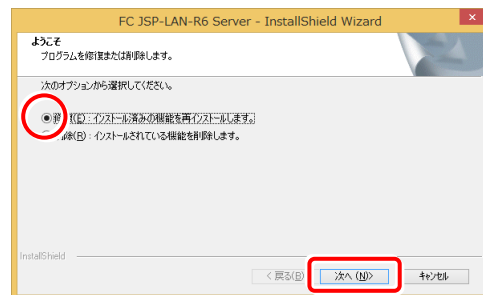


3. 表示される画面に従って、JSP-LAN-Rサーバーをインストールします。

バージョンアップ画面が表示された場合は、[次へ]を押して、インストールを進めてください。



[修復]と[削除]を選択する画面が表示された場合は、[修復]を選択して、インストールを進めてください。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。  
再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

## Q &amp; A

## Q.1

ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか？

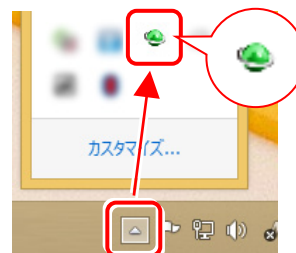
## A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。  
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

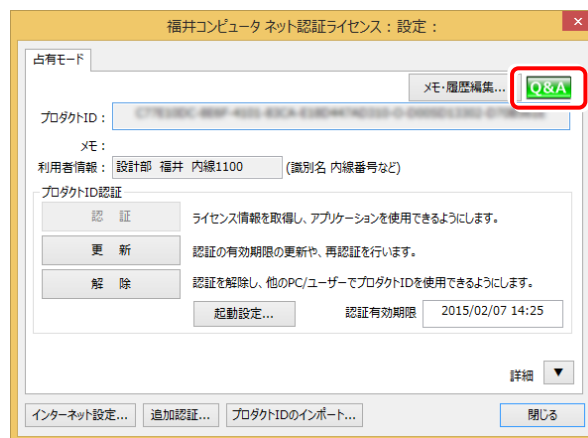
## 開き方

1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



2. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。  
[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



**Q.2**

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。

**A.2**

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。

(プログラムによって、画面が異なる場合があります)

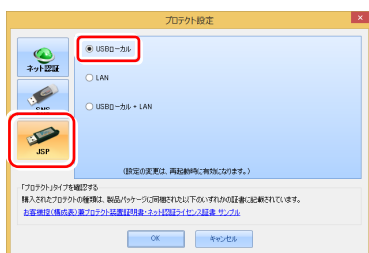
<p><b>【ネット認証ライセンス(占有)】を使用</b></p> <p>[ネット認証]-[占有モード]を選択</p> 	<p><b>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用</b></p> <p>[ネット認証]-[LANモード]を選択</p> 	<p><b>【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用</b></p> <p>[ネット認証]-[占有モード+LANモード]を選択</p> 
<p><b>【ネット認証ライセンス(共有)】を使用</b></p> <p>[ネット認証]-[共有モード]を選択</p>  <div data-bbox="676 902 1353 1043" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN サーバー」をインストールしたサーバーのコンピュータ名を入力してください。</b></p> </div>		

<p><b>【SNS-W】を使用</b></p>  <p>[SNS]-[USBローカル]を選択</p> 	<p><b>【SNS-LAN-X】を使用</b></p>  <p>[SNS]-[LAN]を選択</p> 	<p><b>【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用</b></p>  <p>[SNS]-[USBローカル+LAN]を選択</p>  <div data-bbox="592 1861 1442 2033" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーのコンピュータ名を入力してください。また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」※の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。 ※ 40ページ参照</b></p> </div>
--	--	---

**【JSP-R】を使用**



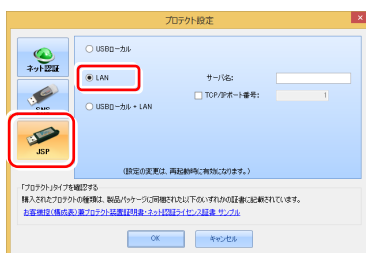
**[JSP]—[USBローカル]を選択**



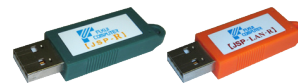
**【JSP-LAN-R】を使用**



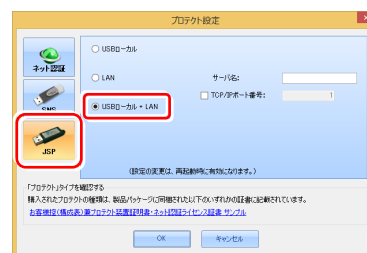
**[JSP]—[LAN]を選択**



**【JSP-R】と【JSP-LAN-R】を併用**



**[JSP]—[USBローカル+LAN]を選択**



**【JSP-LAN-R】を使用する場合は、[サーバー名]に【JSP-LAN-R】を装着したサーバーのコンピューター名を入力してください。**

## Q.3

ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。

## A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

● Windows10 の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」

● Windows8.1 の場合

Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」

● Windows7、Vista の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」

The screenshot shows the main application window with several callout boxes explaining its features:

- [サーバー名]** サーバーのコンピュータ名が表示されます。
- [ユーザーID]** ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。
- [ライセンス数]** 同時使用が可能なライセンス数が表示されます。
- [空きライセンス数]** 現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。
- [サービス設定]** 接続設定やログファイルを設定します。
  - [接続]タブ** 接続プロトコルを設定します。
  - [使用状況ログ]タブ** 使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。
- [ライセンス認証]** プロダクトIDの認証・更新などをを行います。
- [自動更新設定]** 認証の自動更新処理について設定します。
- [開始]** サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。
- [停止]** サービスを停止します。
- [最新に更新]** 空きライセンスなどを最新の情報に更新します。
- [サーバー接続ユーザー一覧]** ライセンスを使用しているユーザーを確認します。
- [オプション利用ユーザー一覧]** 選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

The application window includes fields for 'サーバー名', 'ユーザーID', and '接続方式:名前付きパイプ'. It also displays a table of licenses with columns for 'アプリケーション', 'オプション', 'ライセンス数', and '空きライセンス数'. A 'サービス利用' panel on the right contains buttons for '開始', '停止', '最新に更新', 'サーバー接続ユーザー一覧', and 'オプション利用ユーザー一覧'. A 'サービス設定' dialog box is also shown at the bottom, with tabs for '接続' and '使用状況ログ'.

● [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、

1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力を設定（[間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定）。
2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。

● ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

## Q.4

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

## A.4

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

● Windows10 の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」から、[FC SNS-LAN-X Server]—[FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ]

● Windows8.1 の場合

Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、[FC SNS-LAN-X Server]—[FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ]

● Windows7、Vista の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、[FC SNS-LAN-X Server]—[FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ]

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' application. It features a 'サーバ' (Server) field, a 'ユーザID' (User ID) field, and a table with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス数' (License Count), and '空きライセンス数' (Available License Count). The table lists multiple 'EX-TREND 武蔵' entries. On the right side, there are buttons for '開始(S)' (Start), '停止(D)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザ(U)' (Connect User), and 'オプション(O)...' (Options).

**[サーバ]**  
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

**[ユーザID]**  
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

**[ライセンス数]**  
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

**[空きライセンス数]**  
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

**[開始]ボタン**  
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

**[停止]ボタン**  
サービスを停止します。

**[更新]ボタン**  
表示されている情報を最新に更新します。

**[接続ユーザ]ボタン**  
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

**[オプション]ボタン**  
接続設定やログファイルを設定します。

**[接続]タブ**  
接続で使用するポート番号を設定します。

**[使用状況ログ]**  
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

The 'オプション' dialog box shows the '接続' (Connection) tab with 'TCP/IP' selected and a 'ポート番号' (Port Number) field set to '5093'.

- [ポート番号]の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。

- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定)
  2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
  3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
  4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。

- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。



## Q.5

USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス管理について教えてください。

## A.5

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC JSP-LAN-R6 サーバ」で管理します。

「FC JSP-LAN-R6 サーバ」は、「USBプロテクト【JSP-LAN-R】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

● Windows10 の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ]—[FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]

● Windows8.1 の場合

Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ]—[FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]

● Windows7、Vista の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ]—[FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]

The screenshot shows the main window of the 'FC JSP-LAN-R 6.2 サーバ' application. It features a 'サーバ' (Server) field, a 'ユーザID' (User ID) field, and a table with columns for 'ライセンス数' (License Count) and '空きライセンス数' (Available License Count). On the right, there are buttons for '開始(S)' (Start), '停止(D)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザ(L)' (Connect User), and 'オプション(O)...' (Options). A separate 'オプション' (Options) dialog box is shown at the bottom right, with tabs for '接続' (Connection), '動作ログ' (Operation Log), and '使用状況ログ' (Usage Log). The '接続' tab is active, showing protocol settings like 'プロトコル' (Protocol) set to '※前付きタイプ(N)' and 'ポート番号' (Port Number) set to '0'.

**[サーバ]**  
JSP-LAN-Rプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

**[ユーザID]**  
JSP-LAN-RプロテクトのユーザIDが表示されます。

**[ライセンス数]**  
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

**[空きライセンス数]**  
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

**[開始] ボタン**  
サービスを開始します。JSP-LAN-Rプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

**[停止] ボタン**  
サービスを停止します。

**[更新] ボタン**  
表示されている情報を最新に更新します。

**[接続ユーザ] ボタン**  
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

**[オプション] ボタン**  
接続設定やログファイルを設定します。

**[接続] タブ**  
接続プロトコルを設定します。

**[動作ログ]**  
誰がいつ何を処理したか、およびエラー等の記録を残します。

**[使用状況ログ]**  
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **[動作ログ]**には、「どのコンピューターが」「何時何分に」「どのライセンスを取得したか」が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]に出力先のフォルダーを設定します。
  2. サービスを一旦[停止]ボタンで停止した後、[開始]ボタンで開始します。このとき[パス]には、必ずローカルハードディスクのフォルダーを設定してください。ネットワークの共有フォルダーの場合、サービスの開始ができません。
- **[使用状況ログ]**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数])は適宜に設定)
  2. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
  3. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
  4. 再度「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。